

アートを聴いて観て感じて

11期 ミュージアムへ行こう2

第2回テーマ 毒展

●5月11日(木)【事前学習】 大阪市立自然史博物館へ行こう

講師:大阪市立自然史博物館 学芸課長 佐久間大輔氏

<毒展>

佐久間大輔講師をお迎えし、お話を聞きました。

毒とは、

生物にとって、悪影響がある物質。

毒は、生物によって異なります。

生物の誕生の目的は、子孫を絶やさない事です。

毒は、種を守る為の防衛です。

毒を持つ事で、生物自身を守っています。



●5月18日(木)【鑑賞会】 大阪市立自然史博物館 特別展「毒」



私達人間から見た、毒を取り上げてみました。

私達は毒に囲まれて生活しています。

身の周りの毒、気になる毒を知って、

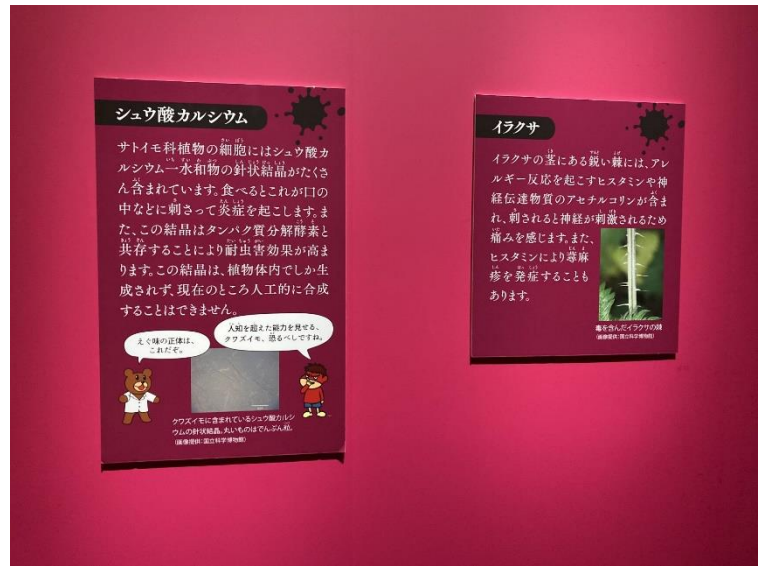
私達も身を守りましょう。

ジャガイモ

ジャガイモの新芽には、ソラニン、毒性アルカロイドが蓄積されていて、根、葉、茎等に成分が含まれます。

緑がかったモノ、新芽が出ているモノは避けましょう、食中毒を起こしたり、最悪死に至ります。

ジャガイモ



インゲン豆

インゲン豆には、ラクチンと云う毒があり、生は危険です。しっかり茹でましょう。

バラ科桜属の種子にある仁(子葉となる胚とその栄養分 胚乳)

あんず うめ すもも びわ

これらの種には、毒があるので、避けましょう。

モロヘイヤ

葉や種に毒があります。

カビの毒

マイコトキシンという毒があり、発癌性があります。カビの生えた食物は、捨てましょう。

その他

•活性酸素

呼吸によって取り込んだ酸素の一部は体内に残り活性酸素になります。

過剰になると、様々な化学反応を起こし、老人現象、発癌性を引き起こします。

体内のビタミン、抗酸化物質酵素は防御してくれますが、限界があります。

歩きましょう。

ウォーキング、水中歩行は抗酸化酵素の働きを高めるので、体の酸化を抑えます。